

記入年月日:令和 7年 3月 18日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか	○		特に小学校における支援では、必要に応じてセンサーツール等を持参し、子どもがより集中して授業に取り組んだり、着席する姿勢を保つことができるように使用しています。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか	○		訪問支援員1名で支援を行うだけでなく、配置的に可能な場合はさらに訪問支援員1名や児発管1名が付き添って訪問支援を実施しています。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		訪問支援を実施した際には毎日の職員会議で情報共有や相談を行い改善に努めています。 職員会議には訪問支援員のみでなく、児童発達支援・放課後等デイサービスの職員も参加しながら、訪問支援の質の向上のために日々話し合いを実施しています。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		今回が保育所等訪問支援の開設以来初めての評価表配布になります。今後いただいたご意見を現場に活かして参ります。
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		毎日の職員会議では、他職員への情報共有や訪問支援での困り事について相談ができる環境をつくっています。また、月に一度行っている運営会議でも、業務全般についての意見を集め、常に業務を見直し、改善へとつなげています。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者による外部評価は実施しておりません。今後前向きに検討して参ります。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	○		社会福祉協議会が開催する研修、感覚統合研修、強度行動障害研修、ABA研修、PECS研修などに参加しています。
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○		契約時や個別支援計画の更新時には、保護者様や利用者様本人の希望やお困りごとを伺うため、アセスメントシートにご記入いただいています。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○		保育所等訪問支援の観点と児童発達支援・放課後等デイサービスの観点から、それぞれで支援を担当する職員も含めた双方向からの視点で話し合い、子どもにとって必要な支援を考えています。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか	○		訪問先施設の意向とすり合わせた訪問計画で、適切な頻度で支援を行うことができるように努めています。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	○		毎回計画に沿って支援を行っています。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○		契約時に、保護者さまに「KIDS乳幼児発達スケール」を使ったアセスメントを行い、お子さまの適応行動の状況を把握しています。また、応用行動分析学(ABA)の研修を通して、行動の先行刺激や結果などを分析し適応行動を増やしていくための行動分析を行っています。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか	○		保育所等の社会生活の中で、小学校では特に、授業に参加することで子どもの社会参加を支援することができるため、直接的な支援で授業への参加を支援している内容となっている。特に、訪問支援は保育所等施設・保護者・事業所の三者にとってよい関係づくりが基盤となっているため、その旨を長期目標として記載しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	○		毎日職員会議でその日行う療育の担当者・内容などを確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎日職員会議で行った療育の情報共有・支援方法などの相談を行っています。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか	○		訪問先にできるだけご迷惑とならぬように支援を行っています。またお子さまに対して直接支援を行い、理念や手法については尊重し、守秘義務を守っています。
	18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		療育後には毎回サービス提供記録を作成し、お子様がどのような様子であったかを記録しています。またその内容は、職員に共有を行い、より良い支援に向け話し合いを行っています。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	○		半年に一度のモニタリングや、訪問支援後の保護者へのフィードバックを通して、訪問支援の見直しを行っています。また訪問時には、可能であれば訪問先の意向の確認も行い頻度を確認したり、学校へ訪問し情報共有を行っています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか	○	サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者を中心に、普段支援を担当している職員が参加しています。
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	○	保育・教育等関係機関と連携して支援を行っています。必要に応じて地域の保健センターや医療機関等とも連携をしていきます。
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	就学前から保育所等訪問支援での情報共有を行い、就学に向けての準備を進めています。必要に応じてサポートブックの作成等をお手伝いさせていただいたり、学校への事前訪問に同席させていただいたりしております。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか	○	項目7のような研修に積極的に参加しています。
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	名東区自立支援連絡協議会そだつ部会に参加しています。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	保護者様が療育見学をされる場合には、お声がけをして最近の様子などをお話いただいています。課題については個別支援計画においても共有しています。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	○	保護者様とのやりとりの中でご質問に回答したり、適切な対応をお伝えしたりしております。また、ペアレントトレーニングを実施し、保護者様のお子さまとの関わり方のご提案をしています。
保護者への説明責任等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約時には、可能な限り丁寧に運営規定のご説明を行っています。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか	○	初めて訪問させていただく施設には、可能な限り児童発達支援管理責任者が同席し、事業の趣旨や目的についても丁寧に説明を行っています。
	29	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○	名東区自立支援連絡協議会そだつ部会に参加しています。
	30	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	○	保育所等訪問支援ガイドラインに基づいて個別支援計画を作成し、保護者様にご説明の上、署名や押印を頂いています。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	○	日頃から保護者様とお話する機会を可能な限り設け、お悩みや不安に気付けるよう配慮しています。必要に応じ、助言や支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	○	父母会を開催し、同じ悩みを持つ保護者様同士での情報交換の場を設けています。また小学校就学を見越した普通級、支援級の選び方などのご提案をし、先を見通しも立てられるよう情報共有をしています。今後も1年に一度のペースで開催をしていきたいと思います。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	相談や申入れを受けた場合には、可能な限り迅速かつ適切に対応しています。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	○	Instagram等で療育の様子を発信したり、HPにも記事を掲載して活動内容等が伝わるように発信しています。保育所等訪問支援を題材にした記事も作成し、その認知度を高めるように努めています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか	○	個人情報の取扱いには十分注意し、個別ファイルは鍵付き書庫で事務所保管しています。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	利用者様の要求が伝えられるよう、PECS(絵カードコミュニケーションシステム)を指導したり、カードや物を使って伝える工夫を行っています。
	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか	○	特に小学校では、訪問支援後に別日で保護者、教頭先生等とお話させていただく場を設けさせていただき、今後の支援について話し合いを行っています。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか	○	療育後には毎回サービス提供記録を作成し、お子様がどのような様子であったかを記録し、保護者様がスマートフォンなどから内容を確認できるようにしています。また直接保護者へフィードバックする時間を設け、訪問支援の様子をより詳しく共有しています。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか	○	個人情報の取扱いには十分注意し、学校側とも良好な関係を築いています。
	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか	○	幼稚園や保育園では、子どもの様子を見ると同時に先生方とお話をする場を設けていただき、実際に困っている場面や相談などを伺い、支援方法について、一緒に考えたり、特性についてお伝えしています。

非常時等の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	毎月一回以上、避難訓練や子どもたちに向けた災害に関する指導を行っています。BCPも策定しています。
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○	事前にフェイスシートにて、アレルギー・心臓疾患・発作・視聴覚・服薬などについて利用者様の状況を確認しています。また小児救急研修等を受けています。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	○	ヒヤリハットがあった場合には、毎日の会議で情報共有し、再発防止のための対応を職員皆で考えて改善しています。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	虐待防止委員会が、虐待防止に関する研修を行い、職員で理解を深めています。また適切な支援と適切ではない支援についてのグレーゾーンについても共通認識を持つことができるように、研修を行っています。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上	○	身体拘束に関する説明書にて、保護者の方に身体拘束を行う場合・理由・方法・時間などについて説明を行っています。

保育所等訪問支援HighFive上社教室